



平成28年3月9日
海上保安庁

西之島の火山活動の状況（3月5日観測）

当庁航空機により西之島の火山活動の観測を実施したところ、噴火は認められませんでした。当庁による毎月の観測では、昨年11月17日の観測を最後に噴火は確認されていません。

3月5日に羽田航空基地所属航空機（MA725 みずなぎ）により西之島の火山活動の観測を実施しました。

1. 噴火の状況

火砕丘にある火口からの噴煙及び噴気は認められませんでした（図1）。また、地表に新たな溶岩流は認められず、顕著な地形変化も確認できませんでした。

熱計測の結果では、火口縁や火砕丘周辺の溶岩原には依然として地表温度の高い領域が点在しており、前回（2月3日）の観測結果とほとんど変化はありません。

西之島の西岸を除く海岸沿いには、薄い褐色～薄い黄緑色の変色水域が幅50～200mで分布しており、特に北西岸から北西沖に向かって薄い褐色の変色水域が幅約1000m、長さ1000mで分布していました（図2）。

西之島の火山活動は引き続き継続しており、今後も噴火による影響が及ぶおそれがあることから、西之島及び周辺海域（火口から半径0.9カイリ（=約1.5km）の範囲）においては、付近航行船舶へ引き続き航行警報により警戒を呼びかけています。

2. 新たに形成された陸地の状況

前回（2月3日）の当庁航空機による観測と比較して、面積に変化は認められませんでした。

○3月5日時点での新たに形成された陸地の形状（暫定値）

- ・東西：約 1,900m（2月3日時点 東西：約 1,900m）
- ・南北：約 1,900m（2月3日時点 南北：約 1,900m）
- ・面積：約 2.63 平方 km、東京ドームの約 56 倍

（2月3日時点 約 2.63 平方 km、東京ドームの約 56 倍）

（参考）西之島全体の面積（旧西之島を含む）：約 2.64 平方 km

（噴火前の西之島の約 12 倍）

○西之島の面積の比較

基準とする事物	面積	各事物に対する西之島 （3/5時点）の広さ
	(km ²)	
東京ドーム	0.0468	約 56 倍
バチカン市国 [世界で最も小さい国]	0.44	約 6.0 倍
仁徳天皇陵	0.479	約 5.5 倍
東京ディズニーリゾート	1.003	約 2.6 倍
大阪城公園	1.06	約 2.5 倍
南鳥島 [日本最東端]	1.51	約 1.8 倍
モナコ公国 [世界で2番目に小さい国]	2.02	約 1.3 倍
西之島（3/5）	2.64	

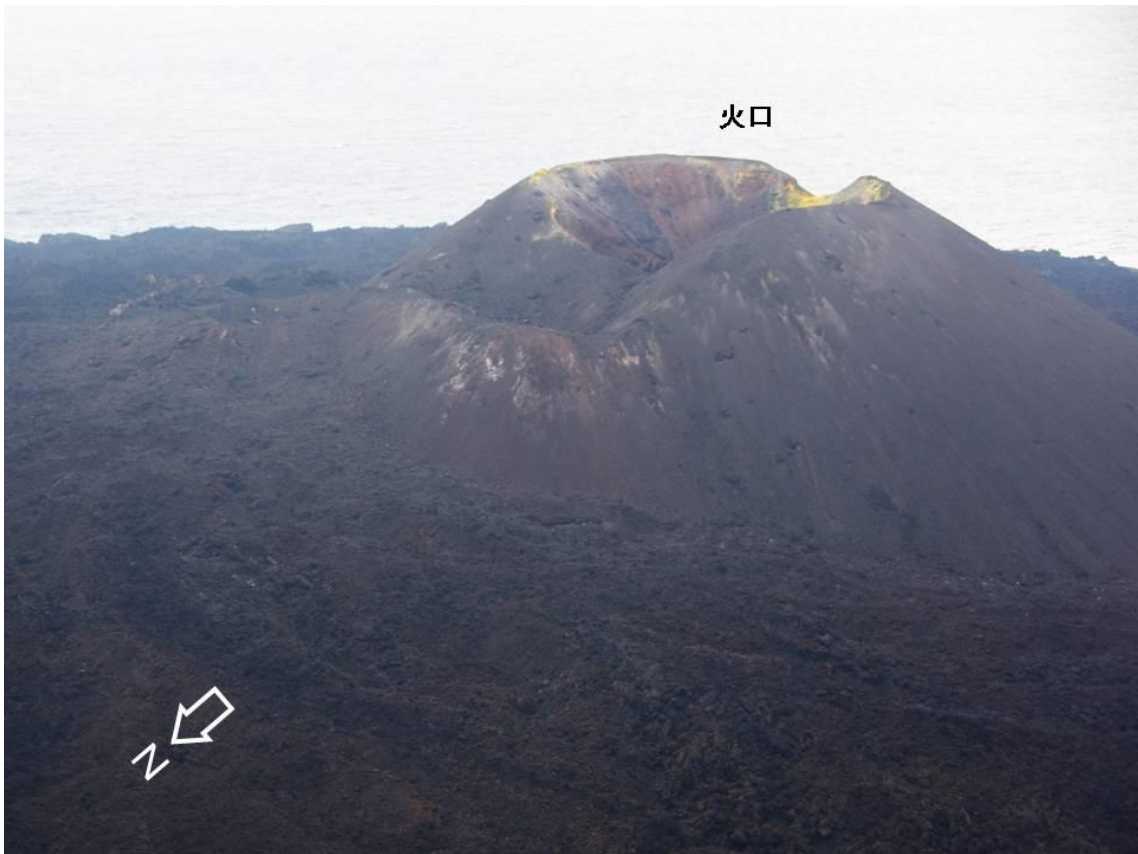


図1 火砕丘と火口の様子（3月5日撮影）

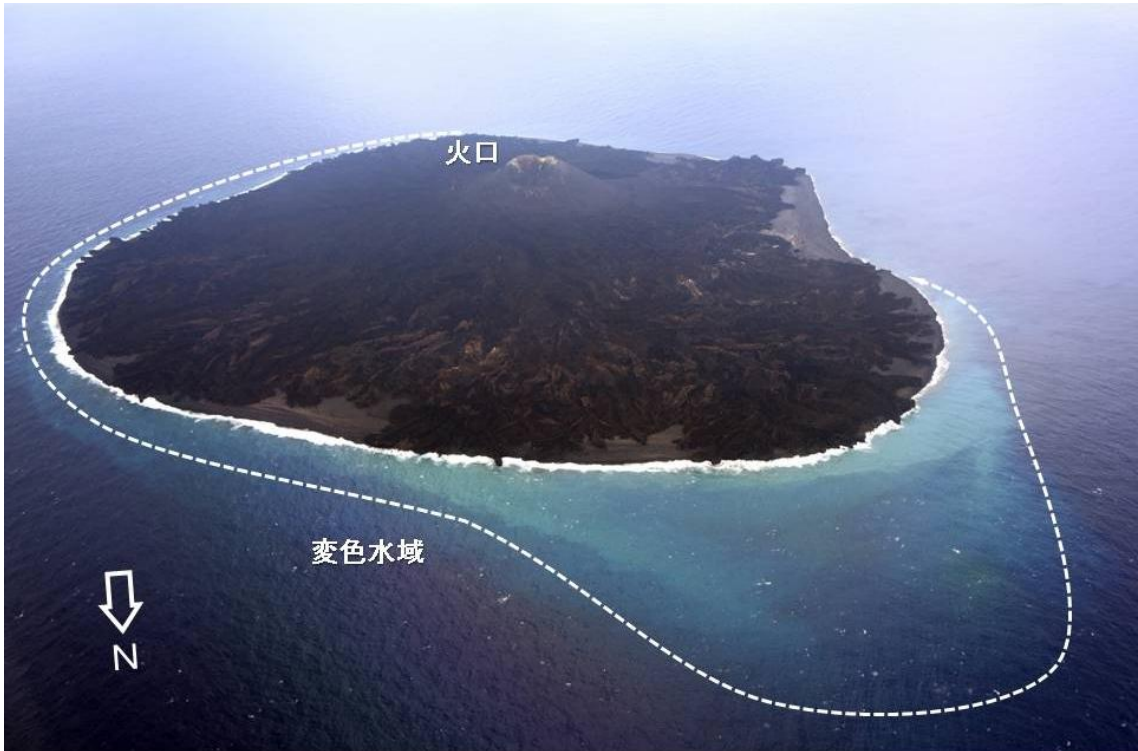


図2 西之島周囲の変色水域の分布（3月5日撮影）

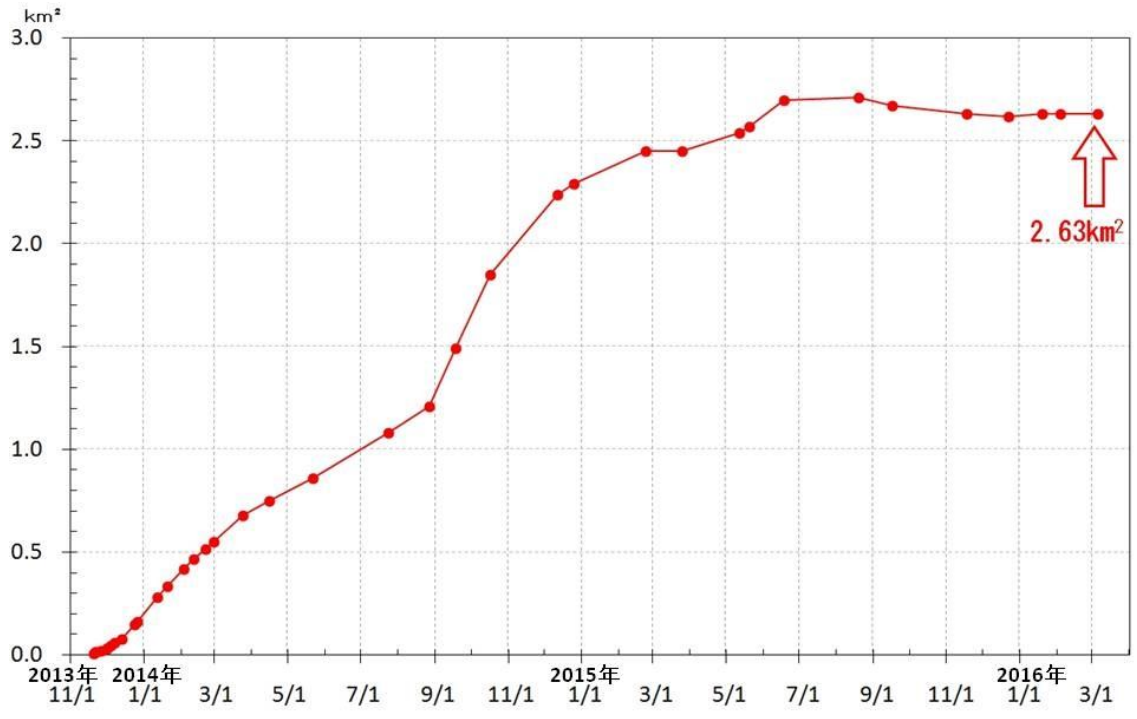


図3 新たに形成された陸地の面積の変化